

# 不燃化特区事業は2020年度で終了します！

荒川区では、木造住宅密集地域の一層の改善を図るため、東京都の木密地域不燃化10年プロジェクトに基づき、大地震等の災害時に特に危険とされる地区について「不燃化特区（不燃化推進特定整備地区）」の指定を受け、特区限定の支援事業を**2020年度**（2021年3月末）まで行っています。

老朽木造建築物の建替えや、危険老朽建築物の除却について、助成金等による支援や税金の減免が受けられます。

また、建替えについてお悩みがある方を対象に無料の相談会（要予約）を開催しておりますので、ぜひご利用ください。

詳細は下記【お問合せ先】までご連絡ください。



荒川区 住まいの相談会 検索

検索、もしくはこちらのQRコードから荒川区ホームページをご覧ください。

## <コラム> 「タブノキ」をご存知ですか？

「タブノキ」はクスノキ科に属する常緑の高木です。「タブノキ」には延焼火災の抑止や遅延の効果が期待されています。注目されるきっかけとなったのは、昭和51年（1976年）10月に山形県酒田市で発生した酒田大火でした。

酒田大火は、建物1700棟以上、まちの中心部のほとんどを占める約22.5ヘクタールが焼失する大火事でした。強風による延焼により消火活動が思うように進まない中、ある旧家ではそこに植えられていた2本のタブノキで、火の手が止まり延焼は免れたといわれています。

町屋町会連合会は、この「タブノキ」のもつ延焼遅滞の効果に着目し、地区を延焼火災から守るため、植樹に取り組んでいます。身近な公園やひろばなどに植樹されているかもしれない「タブノキ」を探してみませんか？

地区内で今年度植樹された「タブノキ」



町屋四丁目 江川防災スポット



第四峡田小学校



町屋町会連合会の皆さんで植樹会を行いました

町屋二・三・四丁目にお住まいの方等で、町屋二・三・四丁目地区の防災まちづくりに興味があり、協議会にご参加を希望される方は、下記【お問合せ先】までご連絡ください。

### 【お問合せ先】

荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課（区役所北庁舎2階⑭窓口）  
Tel 3802-3111（内線 2829）担当：松田，長久保

平成31年3月発行

No. 38



あらみ あら坊

# 町屋二・三・四丁目地区防災まちづくり まちやタイムす

発行：町屋二・三・四丁目地区防災まちづくり協議会  
荒川区防災都市づくり部防災街づくり推進課  
編集協力：ランドブレイン株式会社

## 平成30年度の活動をご報告します！

「町屋二・三・四丁目地区防災まちづくり協議会」では様々な防災まちづくりの取組みを進めています。

今年度は、『町屋二・三・四丁目地区防災まちづくりルール』の周知を図るため、前号とともに配布をしました。

また、防災まちづくりに関する知識を深めるため、まちなかの無電柱化をテーマとした勉強会を実施しました（勉強会の概要については、2・3ページをご参照ください）。



平成30年度 第3回協議会の様子

## 『町屋二・三・四丁目地区防災まちづくりルール』はご覧いただけましたか？

『町屋二・三・四丁目地区防災まちづくりルール』では、町屋地区の10年間の街並みの変化や、将来の予測などを掲載しています。

地区を災害に強いまちとするために、ルールに基づくまちづくりを進めていきましょう。

10年間の街並みの変化（燃えにくさの変化）  
平成18年 平成28年



『町屋二・三・四丁目地区防災まちづくりルール』より



豊島通りが少しづつではあるが、広がっており、地区の街づくりは確実に進んでいる。ルールを活用しながらより安全な街を実現したい。

防災まちづくりルールに対する思い  
【協議会員からのコメント】

東日本大震災の当時の記憶が残っている。今後、いつ発生するか分からない大災害に備えて、ルールによる街づくりとともに常に気に留めておきたい。



# 無電柱化勉強会を開催しました！

去る12月4日に「第2回防災まちづくり協議会」を開催しました。

当日は、『NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク』の理事兼事務局長を務められている井上利一氏を講師にお招きし、まちなかの無電柱化をテーマとした勉強会を開催しました。



当日の様子

## 【講師紹介】井上利一氏

井上先生は、『日本のまちを世界に誇れる美しい街にするために、子供たちに広く大きな空を残すために、災害に強い、安全・安心な街のために』を目指して活動されています。



写真は、『NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク』ホームページより

### <質疑応答>

Q：地中化した場合、浸水対策はどうなるのでしょうか？

A：電線類が入っている機材については、パッキングがあり、防水性は高く、水は入り込まない設計となっています。また、電線自体も防水性があるため、多少水が入っても問題なく機能します。

Q：まち全体で無電柱化を進めるには、大規模な計画になってしまうのでしょうか？

A：大規模な計画となります。そのため、工事を実施する路線や距離について、年間の工事量を決め、予算に応じた計画が必要となると思います。

## 無電柱化の実現に向けた法整備や取組み

- 無電柱化の推進に向けて国では『無電柱化の推進に関する法律』が定められています。
- 法律に基づき、国や都では『無電柱化推進計画』を策定し、電柱や電線の撤去実施を目指しています。

## 無電柱化のメリット

- 電線・電柱がなくなることによる美しい街並みが形成されます（景観の向上）。
- 道路の有効幅が広がり、車いすやベビーカー等の通行がスムーズになります。
- 電柱倒壊や電線の切断による道路の分断が無くなり、緊急車両の通行や避難所への移動の妨げとなる事態を防ぎます。
- 災害時における回線の被害が軽減され、通信回線の信頼性が強化されます。

勉強会の概要と参加された協議会員の声を紹介します

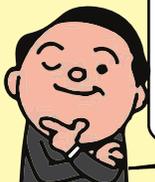


比較的整備が進んでいるといわれる23区内でも道路の8%程度しか実現していないときいて驚いた。

実現するには大変な時間がかかるなと感じた。



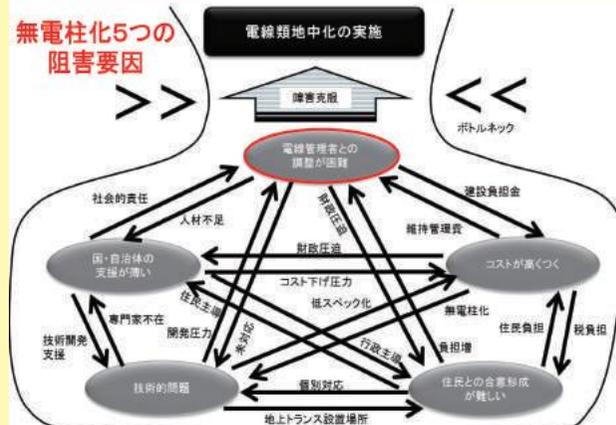
電柱が倒壊した場合の危険性を考えると、早急の実現が望まれる。コストの掛からない技術革新が望まれる。



## 無電柱化実現に向けた課題

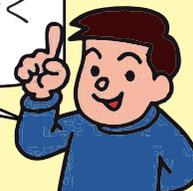
### 無電柱化の課題

### 無電柱化5つの阻害要因



「豊後まちづくりにおける電線類地中化の実現に関する研究」～重要伝統的建造物群保存地区における課題と方向性～ 2014井上より引用

電線類の地中化が実現するとまちの印象も大きく変わると思う。



## 町屋で無電柱化したら・・・

